

四万十市 アクションプログラム実績一覧

作成: 令和5年7月

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
戸別訪問の実施件数	558	1009	28	0	0	50
ダイレクトメールの送付件数			464	442	827	400

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進  
資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

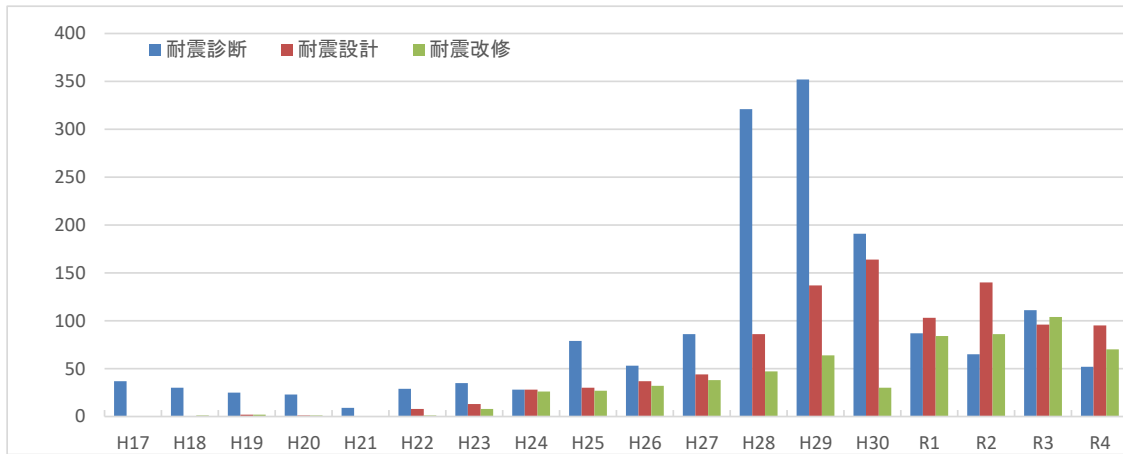
	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
耐震診断士講習会	2	4	2	2	4	3
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2	2	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	0	1	2	2
耐震改修技術学校	3回× 1会場	4回× 1会場	0	0	—	2回× 1会場
耐震補強工事実務講習会	5	—	—	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
広報誌等への掲載	1	1	3	2	3	3
イベントでのブース展示	1	1	1	1	1	1
説明会の実施	5	0	1	1	1	1

○耐震改修の実績

(棟数)	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
耐震診断	191	87	65	111	52	
耐震設計	164	103	140	96	95	
耐震改修	30	84	86	104	70	110



○前年度の取組内容

平成27年以降に実施した戸別訪問で、診断に興味があると回答した所有者に、制度の案内と診断申込書を送付した。アピアさつきにて防災の日に合わせて毎年国土交通省が行っているパネル展示の際に、耐震化の事業説明展示を1週間実施した。

市広報誌で制度周知を行った。

耐震相談会を実施し、耐震診断済実耐震の所有者にはダイレクトメールで案内を行った。

○見えてきた課題

以前に比べ制度の認知度が上がってきたものの、耐震化に前向きでない方がいる。

診断、設計を基本無料としているが、設計段階での工事見積が高額のため、改修をあきらめることが多い。

現在、1年に診断、設計、改修の1ステップしか進めず、3年計画となるため、申請者が多い年度は各補助金の配分・予算の関係で抽選となる場合があり、抽選に漏れた場合高齢者の多い申請者の気が変わることが多い。

○今年度の取組内容

今年度も住宅耐震ブースの出展を行い、引き続き各種補助制度を積極的にPRしていく。

昨年度に引き続き、データの整理を行い、診断未実施者への働きかけを行う。

住宅所有者が診断を行うきっかけとなるように、制度の周知及び耐震相談会等を行う。

早期の耐震化が完了するよう、予算に余裕があれば1年で診断、設計、工事と進めるように早めに案内を行う。

